オンライン忘年会のご案内

■日時：**12月10日(土)18:00**より
■ミーティングルーム(Zoom)
URL：
https://[redacted]/j/5662494027?pwd=QmZvRWRZMG5HQzBJRC9HSlILaUZaZz09
■ミーティングID: [redacted]
■パスコード: [redacted]

＊Zoomの扱い方が不明な方は、稲葉([redacted])までご連絡ください

関西45会
徳光弘介、山室信一、稲葉和夫

23　令和3年(2021年)9月18日　土曜日

読者ひろば

わたしを語る

うすいろか　こっで育ちも　きっあばるる

連載を終えるにあたって、肥後弦巻風「今の心境を聞かせは、こっかるのだろうか？

とは言え、熊本弁を話す機会が年に数回となって、果たしてこういう表現があったりかなーと悩むことが多い。

ただ、あまり間違いも気にせずに自由に熊本弁を交わせる貴重な機会がある。熊本高校昭和45年卒業生の同窓会、熊高45会である。

正直に言うと、高校卒業後は自分が大学受験に失敗したこともあって同窓生と会うのは気が重かった。

もちろん、大学時代から甲子園・村上学君たちとの交流は続き、帰省の途中で広島に寄り田上君と中国地方を案内してもらったりもした。また、「陽熊の際には中川芳昭・境教雅・安藤博史・田尻知子・高宗孝輔さんたちと歓談し、歓迎いただいたことも仕事に繋がり、浅学ゆえの身でも、まわりの方々に助けて支らなければ出来ない日々を過ごしました。

夫婦君のお世話で関西・東海45会メンバーが京の川床料理を賞味しながら熊本弁丸出しで語り合ってきた。

本来、昨年3月に「卒業50周年熊高45会同窓会」を開催し授校を再訪する予定だったが、コロナ禍で延期となっている。しかし、今夏から関西各中心に始めたオンライン同窓会を、今後は東京45会はじめ各地の45会と結びも開催する。

ただ、寄る年波のせいか、45会からのお知らせで学友の訃報が届くことが多くなった。その度に、「あの、もう一度会って話したかった」という痛恨の想いが募る。

そうした痛みにも重なるが、大学球界の恩師の最後から始めたご縁の最後は、「旅信の清月」の懐かしの名を欲った「清月の旅」3番の歌詞で閉じた。

親の御胸を　離れ来て
より　過ぎ来し方を
いて我は　遠き故郷の
みを空し　＝終＝

※次編は20日から始まります。

熊本発　アジアの時空を歩く　㊽

思想史家・京都大名誉教授　山室　信一

熊高45会　半世紀のつながり

今年開催し交流する熊高の同窓生たち　修学旅行50年記念で京都で開いた同窓会＝2018年

そして、多くの人が退職で自由の身となった2018年、熊高関西修学旅行50年記念「大同窓会＝n京都」を田上君の企画で開催し、木村秀次会長はじめ行名が鴨川一条苑（山県有朋の第二無隣庵）に全国から集った。その後、同じ場所で毎夏、徳弘介・熊業和3君の歌詞で閉じた。

そうした痛みにも重なるが、大学球界の恩師の最後から始めたご縁の最後は、「旅信の清月」の懐かしの名を欲った「清月の旅」3番の歌詞で閉じた。

親の御胸を　離れ来て
より　過ぎ来し方を
いて我は　遠き故郷の
みを空し　＝終＝

※次編は20日から始まります。

人生の儚さが心に刺さった夜

卒業後五十数年を経て、他愛もない日常の一齣が時折フッと思い出されます。

その一つが昼食時間に村上学・田上講児君たちと運動場の土手を越えて行ったカレー屋さんの事で、懐かしい故郷の幻の味の一つです。他の一つは同じ数学塾だった寺崎嘉博君とオリビア・ハッセ「ロミオとジュリエット」や酒井和歌子初主演「めぐりあい」などの映画を観ては恋愛談を交わした事で、夢想が楽しめた「青の時代」の記憶です。

卒業後の思い出としては、松永小枝子さんのお通夜に出て村島富美子さん・岩崎隆三君たちと黙々と歩いた道の闇の深さが忘れられません。あの時、無邪気に戯れていた遺されたお子さんも今は四十歳過ぎでしょう。人生の儚さが心に刺さった夜でした。

（一室　山室信一）

コロナ禍と同窓会の延期

卒業五十周年同窓会が令和五年三月二十九日に開催されますが、本来は二〇二〇年（令和二年）三月の開催でした。その間、世界に広まったコロナ感染症で、ウイルス・細菌の存在、影響の大きさを改めて認識しました。

五十年前の熊高生活では、先生方の授業、中庭の芝生、文化部室の雰囲気を思い出します。グラウンドでは、野球、ラグビーなど、体育館・プールも、江津湖ではボート、グリークラブ、ブラスバンド、どれもレベルの高いもので、私は周りでながめて楽しみました。貴重な思い出です。

世界では紛争も災害も繰返され、気候変動には避難先もありません。社会の仕組みで、次の世代に安全な環境を引継げるよう願っています。

（一室　安藤　博史）

韓国で感じた日本

私は今では普通よりかなり早いのですが六十歳で仕事をやめ、思い立って家内と二人で韓国に移り住みました。特に何年という予定もなかったのですが、結局ソウルに約一年、釜山に約二年、都合約三年間を韓国で過ごしました。滞在中日本から最も近い外国であるがゆえに感じたことを本当に他愛のないことですが2つほど記してみます。

一、日本人がビザ無しで韓国に滞在できる期間は九十日ですので、長期間滞在するには約三ヶ月毎に出国する必要があります。その時便利なのが対馬です。釜山港から船で一時間ほどで上対馬の比田勝港に着きます。距離にして六十キロほどですから私が住んでいた釜山の海辺の部屋からも晴れていれば肉眼で対馬が望めましたし、釜山の花火大会が対馬の展望台から眺められます。その対馬の南端付近から晴れた日には肉眼で壱岐が見え、その壱岐からは九州本土がすぐそこです。この肉眼で見ることのできる範囲のつながりの中に日韓両国が存在し、更にそこが我が熊本の隣の県であることに、当たり前のことではありますがその近さを感じていました。壱岐・対馬と言えば司馬遼太郎の「街道をゆく13壱岐・対馬の道」の最終章に「佐須奈の浦」という話があります。

この話に出てくる食堂に私も何度か行ったことがあるのですが、平成八年現在の熊高四五会名簿に同じ私と同じ三室の奥村明康君の住所がこの佐須奈となっています。対馬によく行っていた頃訪ねてみればよかったと思っています。

二、日本人もよく行く釜山の観光地、海雲台から路線バスで約一時間ちょっと、蔚山市に入ったばかりの所に西生浦倭城という日本式の城跡があります。この城は一九五三年文禄の役の時加藤清正が築き、文禄の役の和平交渉がこの城で行われ、慶長の役の時にも加藤清正軍がこの城に入城したそうです。海辺近くの小高い山城で当時は本丸、二の丸、三の丸とあり、今は山頂、山腹に日本の城そのままの立派な石垣が残っています。春にはいつ誰が植えたのかソメイヨシノが咲き誇ります。私は韓国焼酎とキンパを持って二度花見に行きましたが、この春うららかな満開の桜のもと花見客は私達二人だけという状態でした。海の向こうは日本です。なんで秀吉はこんな所まで来て戦うようなまねをしたのかと思いながらの花見でした。

コロナが収まればまた韓国を旅行したいと思っています。特に半島南西部に十数基ある前方後円墳を見に行きたいと思っています。三年ほどいましたのでなんとか自力で見て歩くことはできると思います。ご興味があれば一緒にいかがですか？

（三室　徳光　弘介）

感謝！

真夏のすり鉢状の球場は暑い。熊本県営藤崎台野球場。一九六九年夏の甲子園大会「今日は夏休みの課外授業は中止します。藤崎台へ応援に行きましょう」との校内放送があったとのこと（課外を受けたい、なんで野球部だけや、との声もあったでしょうに）

白、白、白が続々と増えていく応援席。学ラン姿の有志応援団員、手製の大きなメガホン、ゲンコツ。こんなに多くの仲間に応援に来てもらいありがたい感謝の気持ちでいっぱいでした。そして十万馬力を得た如く力が漲ってきました。グランドに立つ三年生は四人。

準決勝（延長日没引分け、再試合）の時、サヨナラ負けを阻止したセンターからの奇跡のバックホーム　渡辺博。（野球だけは真面目に頑張った）平凡なライトフライなのに何故かファインプレーをしたかの如く大歓声を受ける大森男。（当時はダジャレはあまり聞かなかったな）

テレビの解説者から「良い動きをしてますね」とお褒めの言葉を頂いた私。（感謝の思いがいつもいからせていた私の肩を少しはなだらかにさせたかな）そして主将で、ピッチャーで、四番バッターの山田耕路。（全の試合を一人で投げぬいた、心身共にタフな凄い奴です）相手は八代第一（現秀岳館）、因みにピッチャーは後に大学で日本一になり、巨人にドラフト一位指名されたが拒否した小林君。正直、県代表としては力不足だったんでしょう。期待には応えられませんでしたが、やり切った満足感はありました。

四十数年後の同窓会での事でした。それまで話をしたことも無い方から「松窪君だろ、あの夏は燃えたね」と声を掛けられ感激しました。（この感激が今回投稿するきっかけのひとつになってます）今は応援席から後輩がグランドを駆け回る姿を見て元気をもらっています。熊高ってやっぱ良かよ。

（熊本市在住）

写真は今の私です。引き立て役はサッカー部でキャプテンだった二室の加納武夫君（お腹が出てる方）です。彼が来年の長崎への記念旅行を取り仕切っています。是非ご参加ください。

お知らせです

今熊本では二木会と称し【偶数月の第二木曜日】に集り、あの頃あったあんな事、こんな事、今日の事、明日の事を語り飲んで食って騒いで二度目の青春してます。

この歳になると同じ空間を共有した人との話はノリが良いですよ。皆さん一度顔を出してください。

（四室　松窪　英人）

事務局からのお願い

45会の皆様への連絡は、メールを利用しています。
４５会HPよりにメール登録をお願いします。（現在約230名）

江原会に住所登録がない方は、江原会へ連絡をお願いします。
45会の同窓会のお知らせ等は、江原会住所で郵送もしています。
江原会へ住所変更等を連絡お願いします。（現在約380名）

江原会事務局
E-mail: [redacted]　HP: **https://office.kogenkai.org/**
〒862-0972 熊本市中央区新大江 1-8 熊本高校内
TEL.096-362-5866
江原会会報が郵送されますので、江原会会費納入をお願いします。

45会事務局
HomePage: **https://www.45kai.com**
「質問・連絡」欄から送信　世話人へ届きます。
事務局　1室　安藤博史
[redacted]
862-0903 熊本市[redacted]　tel/fax [redacted]